

令和5年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取組状況

＝重点目標＝

- 1 組織体制と財政基盤の強化
- 2 地域福祉事業の推進
- 3 生活支援・総合相談事業の推進

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類され、社会活動や日常生活も落ち着きを取り戻しました。しかしロシアによるウクライナ侵攻の長期化を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから物価が高騰し、日常生活に影響を与えています。またアフターコロナの社会ではコミュニティーのつながりの希薄化だけでなく、家族関係の変化から「身寄り問題」も顕在化し、今まで以上に孤立、孤独が深刻化し問題となっています。

米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく、安心して暮らせる福祉のまちづくりと地域福祉の推進を掲げ、地道ながらも丁寧に実践や支援に取り組んでまいりました。

組織体制と財政基盤の強化では、新たに民生児童委員協議会事務局を受託し、事業の見直しや自動販売機収入の増収を図り体制強化に努めました。また将来を見据え中期経営計画の策定に向けたプロジェクトチームの結成、人材育成プラン、人事評価制度導入への基盤作りを進めました。

地域福祉事業の推進では、重層的支援体制整備事業を推し進め、「米子市地域“つながる”福祉プラン」の基本目標の達成のため市と連携し、実践に取り組みました。従来の地域福祉活動の支援として支援マップづくりや福祉教育にも注力し、地域に積極的に出掛けていき、丁寧な関係作りに努めました。さらにボランティアセンターでの居場所づくりとして「ちょこっとボランティア事業」のキックオフ事業を開始しました。

生活支援・総合相談事業の推進では、生活困窮者自立支援事業の一環である住居確保給付金事業、家計改善支援事業を新たに受託し、一体的運用することで円滑な支援を実現するとともに、日常生活自立支援事業では担当専門員制の導入により、職員の制度理解と支援技術の向上を図りました。また米子市総合相談支援センター「えしこに」との連携を図り、チームとして支援体制の構築に尽力いたしました。えしこにへ出向し2年目を迎えた地域包括支援センター職員は相談業務に励み、市と融合した体制作りへ邁進しています。

本会の経営状況においては、会費や香典返し等の寄付金が減少傾向にあることに加え、組織運営に係る様々なコストが上昇しているため、厳しい状況が続いていますが、このたび新たに策定した「中期経営計画」に基づき、様々な施策を実行することで、経営基盤の強化に努めてまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施、情報公開の推進、適正な法人の運営、中期経営計画の策定等、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（5回）

開催日	内容等
令和5年4月14日	・副会長の選任について（書面決議）
令和5年6月7日	・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告 ・令和4年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・理事・監事候補者選任 ・評議員候補者選任 ・評議員選任解任委員選任 ・定時評議員会の招集事項の議決
令和5年6月29日	・会長、副会長、常務理事選任議決 ・評議員候補者選任 ・評議員選任・解任委員会の招集の議決
令和5年9月5日	・報告事項 第53回米子市社会福祉大会開催について ・米子市社会福祉協議会長表彰候補者の決定
令和6年3月7日	・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告 ・役員及び職員給与規定の改正の議決 ・職員の勤務時間の割り振りの変更に関する規程制定の議決 ・令和5年度資金収支補正予算の承認 ・令和6年度事業計画、資金収支予算の承認 ・評議員会の招集事項議決

ウ 評議員会開催状況（2回）

開催日	内容等
令和5年6月29日	・令和4年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・理事・監事の選任議決
令和6年3月27日	・令和5年度資金収支補正予算の承認 ・令和6年度事業計画、資金収支予算の承認

エ 監査会開催状況

開催日	内容等
令和5年5月22日	・令和4年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、評議員 17 名を選任した。

- ・開催日 令和 5 年 7 月 1 9 日
- ・出席者 4 人（委員 3 人、市社協 1 人）

(2) 定款、規程の改正の状況

- ・職員の勤務時間の割り振りの変更に関する規程制定
- ・役員及び職員給与規定改正

(3) 役員、評議員の選任状況

ア 役員の選任（令和 5 年 6 月 2 9 日付）

- ・理事 1 8 人
八幡廣子、手島仁美、坪倉幹人、谷村彰男、足立新治、田後良文、
王島茂、新見博士、加藤朗、西尾陸夫、俵俊一、田邊忠雄、辻敏郎、
西井通、角喜美江、遠藤良子、矢末誠、政木人巳
- ・監事 2 人
佐藤幸人、松本眞

イ 評議員の選任（令和 5 年 7 月 1 9 日付）

- ・1号評議員 9人
安田邦夫、大橋賢二、足森雅巳、伊達孝禮、飯塚良子、高橋誠一、諸田和平、
山船茂樹、小林裕
- ・2号評議員 7人
河原英明、大崎薫、松本俊美、岡田隆、足立信二、福島雄三、地頭光晴
- ・4号評議員 1人
竹上順子

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

本池美由樹、松本 眞、鎌田真治

イ 研修会の参加

- ・福祉サービス苦情解決事業研修会
期日 令和 5 年 7 月 1 9 日 オンライン開催
参加者 4 人（市社協職員 1 人）

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、収益事業として始めた自動販売機設置事業を増台し効果的な設置を行うことで増収となった。この収益は、各学校に図書を贈る活動など地域福祉事業の財源の一部として活用することができた。

また、香典返しや一般寄付金の寄付金税額控除について広報やホームページなどにより周知に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況（令和6年3月31日現在）

区分	実績額（円）
販売手数料	3,964,683

会費の状況（令和6年3月31日現在）

区分	世帯数・件数	実績額（円）
一般会費	37,670世帯	22,602,000
団体会費	94件	470,000
賛助会費	153件	1,195,000

寄付金の状況（令和6年3月31日現在）

区分	実績額（円）
一般寄付	1,043,972
香典返し	7,225,000

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。

(7) 広報活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 170号～173号

1回当たり発行部数 43,700部

イ ホームページによる情報発信

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

(8) 人材育成・人事評価

本会の人材育成の指針となる「人材育成基本方針」を策定するとともに、職員の成長を促し、組織の活性化を図ることを目的に人事評価制度を導入することとし、その制度設計を行った。

また、職員の能力向上と育成を目指し、長期的な人材育成のために鳥取県社協主催の階層的研修等に参加した。さらに、福祉人材の育成のため、社会福祉士等の養成のため実習生を受け入れた。

ア 研修参加

・福祉職員キャリアパス対応生涯研修

開催日 令和5年7月～11月 8人参加

・市町村社協新任職員研修

開催日 令和5年6月 1人参加

イ 実習生の受入れ

・看護師実習 6人

(9) 大会の開催及び参加

作年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となっていた各種大会やイベントは、開催を再開した。

- ア 米子市精霊会（令和5年8月16日開催）
- イ 県民総合福祉大会（令和5年8月31日参加）
- ウ 米子市福祉のつどい（令和5年9月24日開催）
- エ 米子市社会福祉大会（令和5年11月2日開催）
- オ 米子市民余芸大会（令和5年12月9日開催）

(10) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

- ア 社会福祉事業表彰
 - ・永年在職団体役員 22人
 - ・永年在職民生児童委員 29人
 - ・永年在職施設団体職員 33人
- イ 社会福祉事業感謝状
 - ・ボランティア団体 1団体
 - ・永年在職在宅福祉員 35人
- ウ 在宅福祉員特別感謝状 4人

(11) 職員の衛生管理

職場の環境改善や職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス研修を実施した。

- ア 衛生委員会 毎月開催 年12回
- イ メンタルヘルス研修会（県社協主催オンライン開催）
 - ・開催日 令和5年5月6日、11月14日 8人参加
- ウ 健康診断 52人受診（1月）
- エ ストレスチェック 53人受診（1月）

(12) 米子市社会福祉法人連絡会の開催

社会福祉法人同士の連携協力、情報交換等を進めるため、令和5年度より懇親会を開催した。加入法人が連携して地域貢献活動を行う事業「地域お助けネットワークよなご」について、関係機関や団体、小中学校へ周知活動を行い、前年度よりも依頼数が増加した。

- ア 総会の開催（令和5年7月13日）
- イ 役員会の開催（令和5年6月9日、令和6年1月19日）
- ウ 研修会の開催（令和6年2月27日）
- エ 懇親会の開催（令和5年11月22日）
- オ 地域お助けネットワークよなご活動件数7件

(13) 中期経営計画の策定

本会の経営基盤の強化を目的に、分野横断のプロジェクトチーム（PT）を結成し、「中期経営計画」を策定した。

ア PT会議（PTメンバー9名による検討会議） 8回開催

イ 計画策定委員会 3回開催

(14) 業務効率化

業務用 SNS を導入するなど、DX の推進により、業務効率化に取り組んだ。

2 地域福祉事業

地域福祉活動の推進を目的に、地区社協等の地域活動団体や各関係機関に働きかけを行い、各種事業を実施した。またコミュニティワーカーが、様々な関係団体、行政との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

ア 地域力強化推進事業

コミュニティワーカーを配置し、米子市内における地域福祉活動への協力支援を行った。また啓成、車尾、福米東、福米西、福生東、福生西、義方地区を担当地区に指定し、より地域に密着した活動支援を行う事業を実施した。

(ア) 地域活動支援関係

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ① 地域支え合い推進会議関係 | (市全域 2 件・担当地区 7 4 件) |
| ② 防災活動・支え愛マップづくり関係 | (市全域 6 0 件・担当地区 1 8 件) |
| ③ 地域の居場所づくり関係 | (市全域 1 5 件・担当地区 7 9 件) |
| ④ 在宅福祉員活動関係 | (市全域 1 3 件・担当地区 1 6 件) |
| ⑤ 企業、他法人、多機関との連携協働 | (市全域 5 8 件・担当地区 1 1 3 件) |
| ⑥ 米子市地域ケア会議関係 | (市全域 1 3 件・担当地区 1 件) |
| ⑦ 研修会参加 | (市全域 1 6 件・担当地区 1 件) |
| ⑧ 地域資源の実態把握 | (市全域 5 件・担当地区 7 2 件) |
| ⑨ 学校教育、福祉学習関係 | (市全域 1 1 件・担当地区 5 8 件) |
| ⑩ その他、地域活動支援関係 | (市全域 8 5 件・担当地区 1 4 2 件) |

(イ) 個別相談支援関係 (担当地区 実件数 2 0 件 延べ件数 3 3 件)

イ 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

米子市との協働により、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の事務局を担い計画の進捗管理を行った。また個別検討会を開催し、地域福祉活動推進に関わる協議を行った。

- ・第6回推進委員会の開催（令和5年6月30日）
- ・第7回推進委員会の開催（令和6年1月30日）
- ・個別検討会の開催（令和5年8月24日）

ウ 地区版福祉のまちづくりプラン作成の推進

福祉のまちづくりプランの作成に取り組んでもらえるよう周知活動に努めたが、新規プラン作成に取り組む地区はなかった。計画期間が終了した地区も含め、計画策定済地区の会議等に参加し、進捗状況の確認や活動の支援を行った。

福祉のまちづくりプランに関する支援の状況

地区	内 容	回数（回）
福生東	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	10
	計画で企画された活動の支援	3
福生西	計画に関する打合せ、協議	10
	分科会の開催	9
	計画で企画された活動の支援	17
加茂	地域福祉推進委員会の開催	1
啓成	計画に関する打合せ、協議、説明	14
	地域福祉推進委員会、分科会への参加	9
明道	福祉のまちづくりプランについて説明	1
夜見	福祉のまちづくりプランについて説明	1

エ 地域での福祉教育の推進

各地区が開催する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

オ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体に運営している遊び場を登録し、助成を行った。

- ・地域立子どもの遊び場設置数 103施設（市社協登録施設）

カ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

(2) 小地域ネットワーク事業

ア 在宅福祉員による見守り援助活動の推進

80歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、困りごとの早期発見や安否確認を目的とした在宅福祉員による見守り援助活動を行った。

- ・在宅福祉員数 750人（令和6年3月時点）
- ・見守り援助活動対象者数 4,236人
- ・見守り援助活動利用者数 2,880人（延べ利用者数28,189人）
- ・歳末見守り援助活動利用者数 3,532人

イ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

- ・ふれあい・いきいきサロン設置数 150サロン
- ・ふれあい・いきいきサロン世話人交流会の開催（令和5年11月21日）

ウ 支え愛マップづくり活動の推進

自治会域において、災害時の要援助者避難支援や平常時の見守り体制構築を目的に作成する支え愛マップづくり活動について、事業内容や作成方法について説明会を実施するなど活動の支援を行った。

また、「災害時における支え愛地域づくり推進事業」について周知し、災害時の支え合い活動における補助事業の活用啓発、申請相談及び支援を行った。

「災害時における支え愛地域づくり推進事業」補助決定件数

事業区分	件数（件）
災害時要支援者対策促進事業	6
ステップアップ事業	1
住民間組織間交流事業	1

エ eスポーツ普及啓発事業の実施（新規事業）

各地区のふれあいいきいきサロンやイベント等を対象に、eスポーツの機材（太鼓の達人）を持参し体験会を実施した。また補助金の申請や機材の使用方法についての助言を行うことにより、3地区がeスポーツ機材を購入し、同好会の立ち上げにも繋がっている。

鳥取県eスポーツ協会と協働し、地区のイベント内において体験ブースを設置し、子どもから高齢者まで参加があり多世代交流の機会となった。

eスポーツ普及啓発事業の実施状況

	実施回数
サロン支援	9回
地区のイベントで活用	3回(内2回eスポーツ協会と協働)
地区社協体験会	3回

(3) 地区社協活動支援事業

ア 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し、地域福祉活動に対する支援を行った。

イ 地区社協への各種情報提供

県内で開催される研修会等の情報を地区社協に発信するとともに、地区社協からの相談に応じ、適宜必要な情報提供を行った。

ウ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会の事務局運営

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。

- ・連絡会の開催（令和5年5月26日、9月7日、令和6年2月29日）
- ・視察研修会（倉吉防災センター）の開催（令和5年11月29日）
- ・正副会長会の開催（令和5年5月9日、7月7日、令和6年1月30日）

エ 米子市在宅福祉員代表者連絡会の事務局運営

米子市在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力するとともに、在宅福祉員活動の支援、協働を推進した。

- ・連絡会の開催（令和5年6月30日）
- ・合同研修会の開催（令和6年1月23日）
- ・正副会長会の開催（令和5年6月5日、11月20日）

3 生活支援・総合相談事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

相談者自身が課題を整理し、具体的な方策に基づいて解決に当たることができるよう、電話相談、面談、訪問、同行支援等を実施した。相談者と相談員との関係性を軸に協働でプランを作成。設定した目標を達成出来るよう支援を行った。自立に向けて何をするのか文書により共有することができ、意欲を高めることが出来た。

高齢者・障がい者・ひとり親世帯においては経済的な課題だけでなく、複合的な課題を抱えている世帯が多く、関係機関と連携しながら支援を行った。

令和5年7月から家計改善支援事業と一体的に支援を実施。相談者と一緒に家計を把握することで、相談者自身が気づいていない背景・課題が見え、法テラス等専門機関と連携しながら課題解決と伴走の両輪で支援を行った。

令和5年7月からワーカーズコープによる就労準備支援事業が開始となり、自立支援事業と一体的に支援を実施。日常生活や社会生活上の自立に課題があり、早期の再就職が困難な方に自立プランと就労準備支援プログラムを作成し、生活自立支援・社会自立支援・就労自立支援を状況に応じて段階的に実施した。

相談の状況

(件)

	令和5年度	令和4年度
新規相談受付件数	360	494
プラン作成件数	135	31

※ふれあい総合相談の件数も含む

プラン作成評価の状況

(件)

	令和5年度	令和4年度
評価実施件数	93	148
終結件数	48	143
見られた変化あり	89	32
一般就労開始	9	13
就労収入が増加	2	3

イ 住居確保給付金

令和5年4月から住居確保給付金受付窓口を受託。自立相談支援事業と一体的に支援を実施した。就労を希望する相談者を対象にハローワーク同行等自立相談支援事業による就労支援を行った。住居確保給付金の活用を促し、就職活動中の住居確保が図れるよう努めた。相談者が積極的に就職活動に取り組めるよう意欲喚起を行い、新規、再支給の条件に該当せず、受付できない場合は他制度に繋いだり、情報提供を行ったりした。

相談の状況

	令和5年度	令和4年度
相談受付件数	355	
支援延べ件数	244	

ウ 会議、研修への参加

① 自立相談支援事業に関する研修への参加

初任者研修、担当者連絡会、支援推進会議、主任研修会、研修企画検討会、人材養成研修（都道府県研修）・ブロック研修への参加

① 重層的支援会議への参加

情報共有と連携強化のために毎月第2水曜日、合計8回出席した。

② 支援調整会議の開催

情報共有と支援プランの適正性の確認および評価を行う。また関係機関と協議することで支援の質を確保する。毎月第2水曜日、合計11回開催した。

② 米子市総合相談支援センター「えしこに」との連携強化のための勉強会へ計9回参加した。

(2) 家計改善支援事業

ア 家計改善支援事業

「生活困窮者自立相談支援事業」により、経済的、社会的困窮状態にある方に対し、家計状況の「見える化」、課題把握、相談者が現状を理解し自らで管理できるよう意欲を引き出す支援を行った。

令和5年7月から事業開始。プラン作成後、評価期間に達しておらず、達成率についての評価は未実施。相談者と相談員との関係性を軸に、相談者とともに課題を把握し、協働でプランを作成、設定した目標を達成できるよう支援を行った。相談者自身が具体的な方策に基づいて課題解決に当たることができるよう支援を実施した。また、自立相談支援事業と連携し、課題解決に向け支援している。家計を「見える化」「把握」することで滞納・負債の軽減・解消に繋がっている。

相談の状況

(件)

	令和5年度	令和4年度
新規相談受付件数	27	
他機関へのつなぎで終了件数	0	
プラン作成件数	4	

プラン作成評価の状況

(件)

	令和5年度	令和4年度
評価実施件数	0	
終結件数	0	
見られた変化あり	0	

イ 会議、研修への参加

人材養成研修（都道府県研修）・ブロック研修への参加、家計改善事業従事者養成研修へ参加し、課程を修了した修了証の交付を受ける。

(3) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。

支援対象世帯の状況 (件)

	令和5年度	令和4年度
一般	35	31
貸付申請中	3	1
生活保護申請中	3	5
生活保護受給中	2	6
合計	43	43

支援対象世帯の人数内訳 (件)

世帯	令和5年度	令和4年度
単身	31	23
2人	4	10
3人	8	10
以上		
合計	43	43

食品・食材提供者（各年度3月31日現在） (件)

	令和5年度	令和4年度
登録者	35	35

(4) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

（件）

	令和5年度	令和4年度
支援件数	10	15

(5) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。自立や成年後見制度の移行等により利用者数が減少した。

現在利用者数（人）（令和6年3月31日現在）（ ）内はR4年度実績

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
27 (29)	17 (19)	14 (14)	0 (0)	22 (25)	58 (62)

新規契約・解約件数（件）

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
0	3	0	1	0	1	0	0	0	5

相談援助件数（件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,330 (1,119)	677 (1,275)	645 (1,017)	2 (3)	2,654 (3,414)

・内部審査会の開催

契約締結審査会の審査前に内部での審査会を開催し、契約の適正性の確認と支援プランの評価を行った。毎月第2月曜日開催、合計12回開催した。

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。令和4年9月にコロナ禍によるコロナ貸付が終了したために、今年度は従来からある貸付の件数がかなり増加している。

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(福祉費)	7	7,237,000
緊急小口資金	15	1,195,000
教育支援資金	5	8,493,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
総合支援資金	18	5,579,741
総合計	45	22,504,741

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。

()内はR4年度実績

資金の種類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
一時貸付		
20,000円 (1~2人世帯)	38 (37)	760,000 (740,000)
30,000円 (3人以上世帯)	8 (4)	240,000 (120,000)
合計	46 (41)	1,000,000 (860,000)

4 ボランティア活動、福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報収集、また各種講座の開催等を行うことでボランティアの育成、支援を図った。

ア 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

個人ボランティアについて登録継続確認の調査を行い、登録者の実態把握に努めた。

区分	団体数、人数
登録ボランティア団体	81団体、2,644人
登録個人ボランティア	42人

イ 米子市ボランティアセンターへの相談状況

新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、施設からのボランティア依頼が増え、コーディネート件数は増加した。

区 分	件数 (件)・人数 (人)
新規登録[個人、団体]	個人19、団体3
依頼件数[要請・お願い]	42
相談件数[助言・情報提供]	265
()内は介護支援ボランティアの状況	(57)
コーディネート	141
()内は介護支援ボランティアの状況	(10)
その他相談等[保険・部屋利用等]	90

ウ ボランティア講座・研修会の開催

ボランティアを始めたい方等を対象に、「ボランティア入門講座」を4回開催し、昨年度より実施時間を拡大した。またサロン世話人の方、地域活動へ参加されている方等を対象に、「レクリエーション講座」を4回開催した。

① ボランティア入門講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	7月28日 (金)	◆ボランティア活動が始める前の心構え 講師：米子市ボランティアセンター職員 ◆ボランティア紹介・体験【手話】 講師：西部ろうあ仲間サロン会 会員	10	ふれあいの 里
2	8月4日 (金)	◆ボランティア活動が始める前の心構え 講師：米子市ボランティアセンター職員 ◆ボランティア紹介【こども食堂】 講師：レインボー・ツリー 会員 講師：出会い・ふれあい・支え愛 笑顔 スペースさちカフェ 会員	10	
3	11月24日 (金)	◆ボランティア活動が始める前の心構え 講師：米子市ボランティアセンター職員 ◆ボランティア紹介・体験【読み聞かせ】 講師：米子市朗読ボランティア「火曜の 会」 会員	11	
4	1月26日 (金)	◆ボランティア活動が始める前の心構え 講師：米子市ボランティアセンター職員 ◆ボランティア紹介・体験【傾聴】 講師：よなご傾聴しあわせの会 会員	8	

② レクリエーション講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	8月28日 (月)	◆座ってできる全身体操 講師：米子市フレイル対策推進課 作業療法士 小椋 善文さん	15	米子市 公会堂
2	10月23日 (月)	◆脳トレで、心も体もリフレッシュ！ 講師：福祉レク・ネットワーク鳥取 代表 玉木 純一さん	20	
3	12月11日 (月)	◆絵手紙を書いてみよう！ 講師：とっとりいきいきシニアバンク「生涯現役」登録 倉瀧 和子さん	9	ふれあいの 里
4	2月5日 (月)	◆身近なもので作ってみよう！遊んでみよう！ 講師：おもちゃ工房・とんぼ舎 伊達 孝禮さん	11	

エ ボランティア活動保険加入の受付

① ボランティア活動保険

ボランティア活動中におこる事故を補償する保険。

加入受付件数 91 件

区分	加入者数(人)	備考
在宅福祉員	768	補助金 @350
高校生(ボランティア体験事業)	128	補助金 @500
個人ボランティア	1,208	
総計	2,104	

② ボランティア行事用保険

本会をはじめ、その構成員や会員である団体、グループなどが主催する様々な行事に対する総合補償制度の受付を行った。

加入受付件数 66 件

③ 事故発生件数

取扱件数 5 件

オ 米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

ふれあいの里内事務室等の再編により、7月1日(土)よりボランティア研修室2は利用終了となった。

部屋別利用状況（開所日数：306日）

	ボランティア室	録音室	研修室1	研修室2	録音録画室	合計
件数	383	0	452	58	41	934
人数	3,521	0	4,745	672	115	9,053

利用目的種別状況

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	229	427	8	39	0	231	934
人数	2,623	4,230	59	113	0	2,028	9,053

カ ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	6
モバイルルーター	5
移動式スクリーン	0
デジタル印刷機	157

キ 広報活動・情報提供

- ① 情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）
年6回（偶数月）1回当たり2,000部を発行し、ボランティアグループ、市役所、公民館、社会福祉施設、学校、病院、銀行等に配布した。また市社協ホームページにも掲載した。
- ② ボランティア情報掲示板の設置
ボランティアセンターに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント、講座開催等の情報提供を行った。
- ③ 米子市ボランティアセンター公式LINEを開設し、ボランティア募集やボランティアに関するイベント等の最新情報の周知を図った。
- ④ 市社協ホームページの活用
市社協のホームページ上にて、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

ク 情報収集

各関係機関及びボランティアグループ等に対し、ボランティア受入れについて調査を実施した。

ケ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会との共催事業 参加高校生128人

コ 米子市介護支援ボランティア事業（米子市受託事業）

登録人数 91人（事業受入協力 69施設）

サ 障がい者との交流事業

米子市、米子市ボランティア協議会との共催事業「米子市福祉のつどい」を開催し180名の参加があった。

シ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

ス 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行い、災害ボランティアセンター活動マニュアルの見直しを行った。新マニュアルをもとに立ち上げ訓練や内部研修会の実施方法について検討し、運営用備品（ビブス）の整備を行った。

(2) 学校での福祉教育の推進

ア 福祉教育推進校指定

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	2
計	36

イ 福祉教育推進研究協議会の開催

小中学校校長会にて協議会を開催し、事業説明や協議を行った。

ウ 福祉教育実践記録集の発行、配布

各学校の福祉教育に関わる取組をまとめた福祉教育実践記録集を発行し、各学校、関係機関へ配布した。

エ 図書贈呈事業

自動販売機の収益を使い、児童・生徒が本に親しみ、感性と創造力を豊かに育む目的で小中学校に図書を贈呈した。

・実績額 272,808円

図書贈呈状況

区 分	贈呈校 (校)	
小 学 校	6	明道小、義方小、啓成小、就将小、車尾小、福生東小
中 学 校	3	東山中、福生中、福米中
そ の 他	1	米子市教育支援センター「ぷらっとホーム」

5 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

地域の子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者（援助・両方会員）と受けたい者（依頼・両方会員）を会員として組織化し、アドバイザーが仲介し、会員相互の育児支援活動を行った。

広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催した。また他のファミリー・サポート・センターや関係機関との連絡調整を行った。

会員数（令和6年3月31日現在）（人）

依頼会員	893
援助会員	219
両方会員	32
合計	1,144

(1) 研修・会合開催状況

ア アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間10回行った。

イ 依頼会員の登録説明会を年間102回実施した（うち日曜開催1回）。

また諸事情により来所できない方に対し、自宅や子育て支援センター等に訪問し依頼会員登録説明を行った。

ウ 安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講座』を年間2回実施した。

エ 既存の援助・両方会員を対象にした事故防止に関する講習会『救急救命講習会』を年間2回開催した。

オ フォローアップ講習会では、「交通安全教室」を開催した。

カ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として、7月「ファミサポまつり」、12月「ファミサポクリスマス会」を行った。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー連絡調整会	10		85	
依頼会員登録説明会	102	115	177	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講座	2	援助会員5 両方会員5	74	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
救急救命講習会	2		15	講師を含む
フォローアップ講習会	1		15	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
会員交流会	2		123	講師、会員の家族及び子どもを含む
合計	119	125	489	

(2) 活動状況について

「子供の習い事に伴う送迎」を中心に、年間3, 148回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	54
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	155
学校・保育所・幼稚園の送り	506
保育所・幼稚園の迎え	441
放課後児童クラブ終了後の預かり	0
学校の放課後の迎え	65
学校の放課後の預かり	44
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	0
保護者等の外出の場合の援助	190
放課後児童クラブの迎え	135
子供の習い事に伴う送迎	1,245
子供の習い事に伴う預かり	69
保育所・学校等休みに伴う送迎	23
保育所・学校等休みに伴う預かり	6
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	141
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0
子供の病気時の援助	0
その他	74
合 計	3,148

(3) 広報活動について

ア 年間2回会報誌を作成し、会員、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。

イ 米子市内の子育て支援センター（4か所）に来所した保護者に事業説明を行った。

ウ 地域の子育てサークル活動に出向き事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数(部)
令和5年6月	よなごファミリー・サポート・センター Vol. 25	1,300
令和5年10月	ふれあい令和5年10月号	1,300

6 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

老人福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
1 5 8	2, 4 1 8

福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
1 2 8	2, 0 1 9

7 福祉団体等への支援・協力

(1) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ア 鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- イ 日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ウ 米子地区更生保護協力会

(2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営及び活動助成 10 団体

- ① 米子市老人クラブ連合会
- ② 米子市肢体不自由児者父母の会
- ③ 米子市手をつなぐ育成会
- ④ 米子市身体障害者福祉協会
- ⑤ 米子市連合母子会
- ⑥ 米子市戦歿者遺族会
- ⑦ 米子更生保護女性会
- ⑧ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑨ 米子市ボランティア協議会
- ⑩ 米子市民生児童委員協議会

イ 福祉団体等の活動助成 4 団体

- ① 米子市連合婦人会
- ② 鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ③ 米子保護区保護司会
- ④ 青少年育成米子市民会議

ウ 協力団体活動助成 1 団体

- ① 米子市自治連合会